



京都 YWCA

9 2017

YWCAは、キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際NGOです。

京都 YWCA 夏の大交流会 ～ 世代と文化のクロスオーバー ～

京都 YWCA は 2014 年に国土交通省の補助を受けて建物を改修し、高齢者住宅、自立援助ホーム、留学生寮、居場所食堂をスタートさせ早 4 年目となりました。7 月 22 日の夕方より、京都 YWCA 会館に住んでいる人、会員・ボランティア、語学クラス受講生、職員、その家族や友人総勢 40 名余りが会し交流するイベントを、3つの委員会（高齢者住宅事業部、生涯教育事業部、多文化共生委員会）の共催で実施しました。

京都 YWCA の建物には、高齢者向け住宅「サラム」の居住者、自立援助ホーム「カルーナ」を利用する若い女性、留学生寮の女子留学生など、文化的背景や生き立ちの異なる多様な人々が住んでいます。同時に、色々な活動に関わる会員・会友やボランティアのほか、語学クラスの受講生が会館に出入りしています。本イベントはそれらの人々に呼びかけて「多世代・多文化」交流会として実施されました。参加者は、互いに親しい間柄であったり、少し顔を見知っているだけであったり、まったく初対面であったりとさまざまでしたが、皆さん新鮮な気持ちで「出会い」を楽しまれたようです。



世代を超えて



あちこちで生まれる「出会い」

手作り料理に舌鼓をうち、中庭では BBQ と花火を楽しみました。

京都 YWCA に出入りする人といえば、料理やお菓子作りが得意な人が少なくありません。それぞれが得意の腕を発揮して料理を準備しました。中庭ではバーベキューが行われ、ロビーでは焼きそば、ピザ、アヒージョ、各種サラダ、おにぎりが並び、最後はフルーツポンチ、プリンなどの手作りデザートまで登場しました。もちろん大人のためのドリンクもありました。お腹がいっぱいになった後は、子どもたちや留学生が中庭で花火を楽しみ、ちょっと懐かしい真夏の夕べの光景が広がりました。



汗をかきながらのバーベキュー



焼きそばづくり



中庭で遊ぶ

新しい関係を次なる「協働」へ

2014 年の新事業開始に当たって、私たちは「市民活動拠点として蓄積したコーディネート力を活かして多様な特性をもつ人々を有機的に結ぶ魅力あるコミュニティを築くこと」を目指しました。複数の委員会が共催する今回のイベントを通じて生まれた関係が、これからの活動や事業に反映され、新しい協働につながることを期待したいと思います。（上村兪巳子）



会員のリーダーシップ養成を考える 4市YWCA（京都・大阪・神戸・名古屋）合同合宿



「会員のリーダーシップ養成を考える4市YWCA（京都・大阪・神戸・名古屋）合同合宿」を7月15、16日に1泊2日で開催した。



比叡山麓に位置する関西セミナーハウスで、市中の祇園祭りのにぎわいを離れて、4市のYWCAから総勢約40名が参加して、時間を忘れての意見交換が展開された。

この合宿は、日本YWCA第32回全国会員総会で、地域YWCAを主体とした活動の企画の一つとしてプレゼンテーションを経て選定されたものである。

活動期間として設定された2年間の成果指標は、①地域で活動する際のリーダーシップスキルを身につけて元気に活動する、②会員研修案を作り各YWCAに持ち帰り実施する、③次世代を担う運営委員・理事候補者を得るための会員・ボランティア制度の見直し、などである。これらを日々の活動と並行して実現していくことは、「必要だと感じているが、やりたくてもなかなか取り組めない」こととして認識していた会員も少なくないのではないか。私自身もその一人である。

まず4つのYWCAのプレゼンテーション（会員・会友・賛助員の定義、プログラム参加者などに会に繋がる人について、各委員会運営や組織について）を聞き、参加YWCAの組織・活動の現状を共有した。このことは、各YWCAの独自の課題についての気づきと改善への動機付けの機能も果たしたと思う。

全体を通して小グループでの話し合いを中心に進められた。最後に、まとめとして、リーダーシップ養成のために必要であり、かつ具体的にできることを発表しあった。①個人の資質を磨く、②組織理解を深める、③会員のリーダーシップトレーニングプログラムの企画、④ユースメンバーが意思決定機関でリーダーシップを発揮できる仕組みづくり、などが提言された。

このように具体的

で魅力的な提案を短時間に発案しプレゼンテーションできたことは、日頃の活動で培われているものがあるからこそだと感じた。

（弘中奈都子）



シリーズ やっています！こんなこと②

3周年を迎える「うららかふえ」



ふれあいの居場所食堂「うららかふえ」は、建築家ウィリアム・メレル・ヴォーリズが設計し、「サマリア館」と名付けられた建物の趣のある空間を利用し、火曜から土曜の11時～16時まで営業しています。

ランチタイム（11：30～14：00）には、京都YWCAの会員が中心となり、多数のボランティアが心を込めて丁寧に作った日替わりランチ（650円）を提供しています。また、食後やティータイム（14：00～16：00）にはフェアトレードのコーヒーや紅茶等の飲み物と、菓子作りボランティアチームの手作りお菓子も用意しています。かふえの一室にはブックコーナーを設け、お気に入りの本を見つけてゆっくり過ごすこともできます。お友達とのランチやお誕生会など、事前に予約して頂ければ席の確保や人数によっては部屋の確保、ケーキのご用意などもできますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

2014年9月9日に開業して以来、地域の方々やYWCAに関わる多世代・多文化の人々の心休まる居場所となることを目指してきました。常連として足を運んでくださる方、京都YWCAが運営している高齢者向け住宅「サ

ラーム」にお住まいの方、さまざまな方のランチ利用に加え、「若者就労支援の場」としての働きも始まっています。ふれあいの居場所としての機能を少しずつ果たせてきているのではないかと思います。この3年間、たくさんのボランティアに支えられてここまで続けて来られたことへの驚きと感謝でいっぱいです。そして何よりもご利用くださるお客さまに感謝したいと思います。

2017年9月5日（火）～16日（土）の期間には3周年記念イベントとして、お菓子と飲み物のセットメニューをご用意する予定です。

より良いカフェ運営を目指す試行錯誤を続けながら、かふえで活動する会員やボランティアも、利用される方々も笑顔あふれる居場所となるよう、美味しいランチやお菓子作りをしたいと思っています。

（河野伴子）



好評の手作りのお菓子

YWCA と私——魚木アサさんに聞く

長年にわたり YWCA で活動され、現在京都 YWCA の高齢者住宅「サラム」にお住まいの魚木アサさんにお話を伺いました。

京都市出身です。クリスチ안의家庭に育ち、1954 年大学卒業後大阪 YWCA の職員として働き始めました。大阪 YWCA は各種学校を開設したばかりで、そこを運営する「教育部」の唯一の職員となりました。講師を見送って後片付けなどしていると終電になることも度々でした。1956 年の、世界青年会議（WAY）に、大阪 YWCA からは私が参加することになり、シンガポールに行きました。日本のメンバー 13 人は皆英語が下手でしたが、何とか知恵を出し合って日本の現状を紹介しました。英語が苦手な韓国、台湾、日本のメンバー同士で協力し合った一週間でした。しかし途中立ち寄った香港では、私たち日本人は厳しい言葉や視線に晒されました。アジアの



1990 年ごろ 大阪 YWCA の皆さんと
(前列左が魚木さん)

国々について目を開かされると共に、日本がそれまでにしてきたことを思い知った旅でした。

2 年後日本 YWCA の「学生部」に移り、7 年後から日本

YWCA の総幹事を 16 年務め、その後定年まで日本 YWCA で働きました。総幹事としての仕事の中で一番印象深いのは、日本 YWCA の職員の大幅削減を断行したことです。それまで日本 YWCA は地域 YWCA の援助を受けて活動していましたが、各地域 YWCA の運営が苦しい中、日本 YWCA も自立しなければならない、活動にお金を回さねばならないとの確信のもと決断したのです。苦しい時期でしたが、地域 YWCA に助けていただいて何とか乗り越えました。特に東京 YWCA には、東京 YWCA 自体も苦しい時期でしたが、たくさんの知恵と協力をいただきました。

「学生部」での仕事として、全国の中高 YWCA、学生 YWCA を訪問して回ったのは楽しい思い出です。どんな活動をしているのか、問題は何かなど話を聞いて交流するのですが、駅まで出迎えてくれた学生さんの自転車の後ろに乗せてもらったり、下宿を宿として提供してもらったりと、懐かしく思い出します。

これからの YWCA に望むことは、若い人が育つ場になること、若い人が世界的な交わりを体験できること、そして「核と人間」の問題に目を向け続けることです。

(聞き手 小寺敬子)

聖マリア教会婦人会にて京都 YWCA 活動紹介 「子どもを取り巻く環境」について

7 月 23 日、聖公会京都聖マリア教会婦人会例会で「子どもを取り巻く環境」をテーマに講話をしました。京都 YWCA の子どもと女性のエンパワメント事業から、①多文化共育プログラム、②日本語教室「洛楽」の保育付きクラス、③親・子育て支援活動委員会（母親支援）、④小学生の居場所プログラム「ガジュマルの樹」、⑤高齢女子児童の自立援助ホーム「カルーナ」について、活動内容、立ち上げ経緯、課題、今後の展望を紹介しました。「子ども」の姿を立体的に捉え、社会への働きかけを考える時間となることを願ってお話しました。

講話後、子どもの変化、支援を必要とする親子への働きかけ等、活動の在り方を考えさせられる質問が出され、キリスト者としての婦人会の意識の高さを感じました。京都 YWCA の鋭い視点による多角的な事業・活動を、運動体として継続していることへの評価をいただき、両団体間での連携と協力を展望しつつ、自らの活動を地道に続けていくことへの大切さを想っています。

(別所加恵)

広報部からのお知らせ



京都 YWCA オリジナル「エプロン」発売

新しい京都 YWCA オリジナルグッズとして、エプロンを販売中です。H 型、X 型という二種の背面デザインを用意しました。色は H 型がブラックとネイビー、X 型はそれに加えてロイヤルブルーとエメラルドブルーの 4 色です。中央にあじさいのデザインに、“Women Leading Change” と “YWCA” の文字があらわれた素敵な仕上がりです。H 型 2000 円、X 型 1500 円、ぜひお買い求めください。



ホームページにグーグルストリートビュー

ホームページから YWCA 敷地の南側の様子やサマリア館内部を見ることができるようになりました。トップページの“Google”をクリックしてみてください。入口から中庭を通りカフェの中まで、あたかも実際に歩いているような臨場感です。ヴォーリス建築の持つ暖かさ、落ち着いた空間を感じていただけたと思います。

「うららかふえ」で、また京都 YWCA で、皆さまをお待ちしています。

(篠田茜)

今後のプログラム

◎スリフトセールほぼ 40 周年記念イベント Y・わい楽しくエコなくらし

京都 YWCA スリフトセールは、今から 42 年前にスタートしました。より魅力的なセールにしていけるために、これまでの歩みをふりかえったり、「エコなくらし」についておしゃべりしたり、ゲストのお話をきいたりして、楽しいひとときをご一緒にしましょう！！

■日 時：2017 年 9 月 23 日（土・休）
13：30～15：30（13：00 受付開始）

■参加費：500 円（お茶付き）

■場 所：京都 YWCA ホール

■ゲスト：大関はるかさん
（有限会社ひのでやエコライフ研究所スタッフ）

■申 込：準備の都合上なるべく事前にお申し込みください。

■主 催：京都 YWCA 平和・環境活動委員会
♪できれば、リサイクル・リユースで入手した、お気に入りのものを身に付けてきて（又は持参して）ください。
♪手作りお菓子の販売もあります。

◎京都 YWCA 保育サポーター養成講座 2017

子育て支援に関わっている方、これから関わりたいと考えている方むけの保育サポーター養成講座を実施します。子どもたち一人ひとりの存在が輝くよう、知って、学んで、実践しましょう！

■場 所：京都 YWCA

※ただし、第 2 回のみ京あんしんこども館

■参加費：全 5 回一括の場合 4,500 円、各回単発 1,000 円

■申込み：要

■主 催：京都 YWCA 親・子育て支援活動委員会

第 1 回目「子どもの発達と現代の子どもを取り巻く環境／「あそび・歌」の中に込められたメッセージ」

■日 時：2017 年 10 月 6 日 金曜日 10：30～12：30

■講 師：千本 翠さん
（社会福祉法人花立かがやき会理事長、中立保育園園長）

第 2 回目「子どもの発達（特に乳幼児）と事故防止」

■日 時：2017 年 10 月 13 日 金曜日 10：30～12：30

■講 師：京あんしんこども館

第 3 回目「子どもの発達と発達障がい基礎知識～関わりに必要な、子どもの理解について～」

■日 時：2017 年 10 月 17 日 火曜日 10：30～12：30

■講 師：相澤 雅文さん
（京都教育大学教授、京都教育大学附属特別支援学校校長）

第 4 回目「保育サポーターの役割とは～よりよい支援のためのポイントを学びましょう～」

■日 時：2017 年 10 月 25 日 水曜日 10：30～12：30

■講 師：森崎 和代さん
（Felien（フェリアン・女性ライフサイクル研究所））

第 5 回目「多文化共生の保育実践について／保育の“困りごと”お助けワークショップ」

■日 時：2017 年 10 月 31 日 火曜日 10：30～12：30

■講 師：張 善花、横川 宏美
（京都 YWCA 職員）

7・8 月／理事会報告

- 来年 5 月 19、20 日に予定している「YWCA フェスタ in 京都」実行委員会の打ち合わせを行った。
- 京都市子ども若者はぐくみ局より、京都 YWCA に市の待機児童問題解消のため上京区に必要となっている保育園開設（2019 年度より）の依頼があり、情報収集および検討を行っている。
- 韓国へのスタディツアー実施：多文化人権ツアー（8/11～13）および日韓ユースプログラム（8/13～16）
- 小学生対象の夏休みキッズディアウト「ガジュマルの樹」を 5 日間実施（8 月 18～23 日）。
- 本館外壁補修工事など今後の中長期的補修工事について協議。
- 「第 7 回エイズ文化フォーラム in 京都」を後援。
- 「非核の政府を求める京都の会」意見ポスターに賛同。
- 会則改正案および新会員ハンドブックの内容について検討している。

ご寄付ありがとうございました。

2017 年 6 月 1 日から 7 月 31 日

寄付者一覧（敬称略、順不同）

一般寄付

西森頼子、文田則子、林律、上村愈巳子、神岡茂子、諫早道子、匿名 1 名

各指定寄付

*メンテナンス募金

上村愈巳子

*親・子育て支援活動委員会

大西澄子、MASAKO KOBAYASHI、京都子ども文庫連絡会、親・子育て支援活動委員会有志、親子ライブラリー有志

*多文化共生委員会

小寺敬子（にほんご教室洛楽へ）

*平和・環境活動委員会

木戸さやか、円城順子、宮川信子、長谷邦彦（ほーぼのぼの会へ）、福島プロジェクトへ
匿名 1 名、あじさいバザール来場者（入場料）

*ファンドレイジング委員会

バザー協力として
小室京子、篠田茜、SutiHati、ドナパン、野いちご、Rawa の会、食彩市場、かるちゃんぶる、じよいはなひろ、橘ビーズ、ファーサイタイ、中村傘、ハーブセラピー、生活クラブ京都、西京都共同購入会、三善製菓、MYUMYU、エルファ、着物リフォーム

*うららかふえ運営委員会

神岡茂子、寺尾鈴子、御前明美

*自立援助ホーム「カルーナ」（教育奨励基金）

安保千秋、小泉小枝、杉本康代、大島博子、斉藤洋子、谷元義子、美馬一正、西村由里、文田則子、白井一美、国際ソロプチミスト京都北山、匿名 2 名

*自立援助ホーム「カルーナ」後援会費・寄付

実生律子、有田孝子、小杉總子、大槻裕樹、館山英夫、丹所紀代子、岩崎明生、安保千秋、山上義人、小林裕彦、奥田かんな、奥村孝、大島博子、斉藤洋子、谷元義子、亀田和代、美馬一正、上村京子、大山悠子、筒井奈都子、寺尾鈴子、手島千景、植松満里子、西村由里、伊部恭子、兼井恵子、平城智恵子、小寺敬子、水野篤夫、弘中奈都子、西文子、山本知恵、中村美智子、篠田茜、イエニクふたみ、富田恵津子、山本千鶴、松岡由香子、應典院、矯風会京都部会、匿名 3 名、匿名 1 団体

*賛助費

野崎泰子、吉田繁、魚木アサ、松永公子、中村美智子、伊藤眞代、福岡節子、中川愛子、中村和雄、白根睦久



子育てママに
人気の生協です。

生活協同組合

生活クラブ京都エル・コープ

0120-608-833

<http://kyoto.seikatsuclub.coop>

はじめての方へ→



KYOTO YWCA No.540

2017 年 9 月号（9 月 1 日発行）

発行人 上村愈巳子

発行所 公益財団法人京都 YWCA

京都市上京区室町通水上ル

電 話 (075) 431-0351 FAX (075) 431-0352

e-mail office@kyoto.ywca.or.jp

U R L <http://kyoto.ywca.or.jp>

郵便振替 01080-9-1566

口座名義 (公財) 京都 YWCA

定 価 50 円